

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	08	05	01	184330	高齢者居住支援事業		
総合計画	分野	暮らし					
	政策	2-2	生活基盤の充実				
	施策	3	住宅の安定確保				
目的	居住の安定確保及び住環境の向上						
対象	市民						
意図	良好な住環境に住み続ける。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
【高齢者優良賃貸住宅家賃対策事業】 高齢者に優良な住宅を供給するため、入居者への家賃補助を行う。 ・花城さくらマンション（タテサカ）17戸 ・こっぼら土澤 8戸							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	家賃補助戸数	戸	計画	26	25		
			実績	23	23		
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	高齢者向け優良住宅入居率	%	目標	100.0	100.0		
			実績	85.0	92.0		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
花城さくらマンションにおいて、退去者があったことから募集したところ入居相談はあったものの、入居までには至らなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・国及び地方公共団体は、高齢者の居住の安定の確保を図るため、必要な施策を講ずるよう努めなければならないことから、公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	2住宅とも市街地に建設され、定住促進と高齢者への住宅確保となっていることから、家賃補助は有効である。 現在、空き区画があり、入居者募集が必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・入居者の家賃軽減のためであり、事業費削減は難しい。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・入居者申込多数の場合は、抽選となることから、公平性は確保されている。 ・申込は先着順であり、市民への周知(広報、FM one、報道)を十分に図った上で実施していることから、受益機会は適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
高齢者が市街地内に住居を構えることにより、不便であった移動手段や病院・買い物等の利便性が向上し、優良な住環境の提供につながっている。 本施設は、まちなか活性化の一助になっている。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	05	01	184330	高齢者居住支援事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		10,892	10,106		△ 786
財 源 内 訳	国・県	7,416	6,793		△ 623
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,476	3,313		△ 163

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
高齢者の街なか居住の安定確保のため、高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃補助を行う。

事業開始の背景・経緯
【高齢者優良賃貸住宅家賃対策事業】花城さくらマンションの供用開始（H19.3）に伴い、高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づき、花巻市高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助金交付要綱を定め、入居者への補助を実施した。

事業概要

【高齢者優良賃貸住宅家賃対策事業】
高齢者に優良な住宅を供給するため、入居者への家賃補助を行う。
・花城さくらマンション（タテサカ）17戸
・こっぼら土澤 8戸

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

一般住宅と比較すると、家賃補助はあるものの高齢者にとっては家賃補助しているものの、高額であることから、全室入居にならないものと考えられる。

担当部署 部名 建設部 課名 建築住宅課 担当係長 及川昌規 内線 546

(単位：千円)

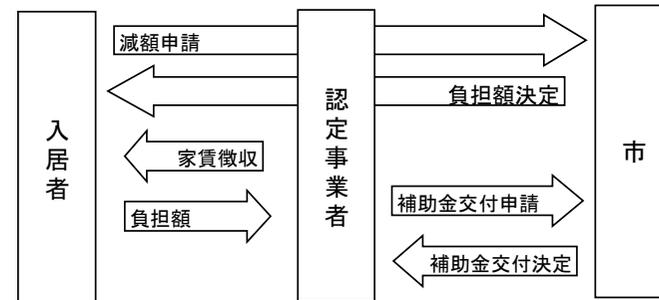
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助金 10,106千円

○事業の概要
高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく整備基準を満たした住宅に入居する60歳以上の低所得者の家賃を補助（月額上限4万円）することにより、高齢低所得者に優良かつ安定した居住環境を確保する。

○補助金額
・花城さくらマンション 15戸 6,960千円（国3,480、県1,740、市1,740）
・こっぼら土澤 8戸 3,146千円（国1,573、市1,573）
（国：公的賃貸住宅家賃対策調整補助金）
（県：高齢者向け優良賃貸住宅等供給促進事業費補助金）

○補助申請等の流れ



○経過と今後について

	補助開始	補助終了	申請期間
花城さくらマンション	平成18年度	平成38年度	20年間
こっぼら土澤	平成23年度	平成33年度	10年間

※期間については、都道府県知事が補助金の交付の期間の延長を認める場合にはさらに20箇年度を限度に延長することが可能。